

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！ 2021年（令和3年）7月21日

7月9日、環境保全委員会（藤本委員長）主催の埋立ゴミ分別状況確認活動が行われ、13人のまちづくり役員とセンター職員及び福澤議員が参加し、グリーンバレー千代を訪問しました。当日朝、川路地区から無作為に抽出された埋立ゴミは合計10袋。個人情報保護の為、ゴミを出した人は伏せて、全て袋から出して飯田市環境課職員の方より分別方法の指導を受けて、参加者全員で再分別。燃やすゴミ、資源ゴミ、ペットボトル等、感覚的に半分以上は不適切な内容。参加した役員の中から、「これはグリーンバレー職員に申し訳無いなあ！」と地区を代表して反省の弁。実際重量を計ってみると、ラジカセの様な正しい埋立ゴミは重量がある為、重量ベースでは71%が正しい埋立ゴミ、残り29%が不適切なごみの結果となりました。川路は分別のレベルが低く、お恥ずかしい内容と役員一同がっかりしていると、環境課の職員の方から飯田市全体の平均は、適正68%であり、川路は平均より僅かに良いレベルであるとの説明があり、喜んでいいのか、悲しむべきなのか、複雑な心境。グリーンバレー千代は今までのペースで埋立ゴミが出た場合、後12年で満杯となり、次の場所を確保する必要があるとの説明。次の場所の確保は簡単ではなく、諏訪圏では場所の確保が出来ずに全国数か所をお願いして処理をしているとの事。少しでも埋立ゴミを減らす様に、埋立ゴミの分別に関して再徹底をする必要を痛感する活動となりました。



市職員から再分別の指導を受ける役員



埋立ゴミを再分別するまちづくり役員



埋立ゴミでは無い不適切なごみの例

タウンミーティングを実施します

今年も川路まちづくり委員会の活動に関しまして、皆様のご意見をお聴きする「各区毎のタウンミーティング」を実施します。日程に関しましては、二区：8月23日（月）、三区：8月25日（水）、四区：8月27日（金）、五区：8月30日（月）、六区：9月1日（水）、七区：9月6日（月）、八区：9月8日（水）を原案として、各区の役員を中心に日程を詰めております。今年度は令和3年の川路まちづくり委員会の活動計画と進捗状況及び「川路土地利用計画」に関しまして説明させて頂く予定です。川路の中期基本計画である「緑本」も制定以来10年を経過し、次の10年を見据えた「改訂版の緑本」の制定が必要になっておりますが、「川路土地利用計画」はその骨子になります。是非多くの方にご出席頂き、貴重なご意見をお聴きしたく、宜しくお願ひ致します。

川路まちづくり委員会歴代会長会

7月12日、まちづくり委員会の活動に対し助言を頂く為に、歴代会長の皆さんにお集まりいただきました。まちづくり委員会の体制になる前の最後の川路自治会長の塩沢寛さん、1人置いて2代目の川路まちづくり委員会会長の長谷部喜則さん、続いて関島雅直さん、吉川武夫さん、橋本國雄さん、中島千明さんの6人と顧問の福澤議員及び現3役と小林センター長の合計12人。今村会長より36災式典での川路中学校校歌斉唱他ご協力頂いた事に感謝の言葉が有り、現状のまちづくりの活動を説明させて頂きました。その中で、特に「まごころ会」と「戦没者慰霊祭」の歴史をお伺いし、又今後の進め方に対してアドバイスを頂きました。「まごころ会」に関しましては、当初活動がスタートした時の善意の心は大切にしたいが、状況は大きく変わってきており、見直す時期に来ているとの助言を頂き、「戦没者慰霊祭」に関しましては、満蒙開拓団で苦労された方々及び戦争でお亡くなりになった方々に慰霊の気持ちを表すことは重要であり、是非継続して頂きたいが、式典の中身は簡素化して行くべきと考える等の助言を頂きました。現まちづくり役員を中心に今後の進め方の案を検討して参ります。又36災の式典に関し、大変良い式典になったと評価を頂きましたが、合わせて川路の水害対策に関して、現状まだまだ不十分な段階であり、天竜川のしゅんせつの確実な履行を絶えずチェックする等まちづくりが主体となって完全な水害対策を継続推し進めて頂きたいと強い要望を頂きました。この点に関しまして、今村会長より、今月28日に天竜川上流河川事務所と飯田市、川路まちづくり委員会、川路水防組合の四者間の打合せが持たれるので、継続してまちづくり委員会として大きな課題として受け止め、フォローして参りますと決意表明が有りました。今回は久しぶりの歴代会長会でしたが、大変有意義な懇談会になり、今後も定期的開催し助言を頂く予定です。



歴代会長の皆さんに助言を頂く3役

「天龍峡をどり」は縮小して実施します

飯田で一人コロナ患者が出た直後の7月14日、天龍峡観光開発整備推進協議会の役員会が持たれ、本年度の「天龍峡をどり」は縮小して下記条件で実施することが方向付けされました。

まず、レベル2までとし、レベル3になったら中止。飲食の提供はテイクアウトのみ。場所は太田下駐車場。花火は実施。だいぶ縮小ですが、昨年の中止を考えれば前進と捉え、精一杯お祭りを盛り上げていきたいと考えております。この「天龍峡をどり」は地域で親しまれている盆踊りの「龍峡小唄」を生のお囃子、生の唄声で踊るお祭りですが、この「龍峡小唄」は川路七区の故牧内武司氏が、地元天龍峡の活性化を願い、昭和二年に川路青年会に提案し、龍江・川路の有力者の了解のもと、寄付を募り、作詞家の白鳥省吾氏、作曲家の中山晋平氏に依頼して作られた新民謡です。一昨年ご子息の牧内雪彦氏が「龍峡小唄ものがたり」という本を刊行しており、その間の経緯を興味深く紹介しております。今年は残念ながら縮小しての実施ですが、来年こそはコロナも終息して、盛大に「龍峡小唄」を踊れるようになることを心から願っております。



2019年の天龍峡をどり